

AR226

2019年1月~3月号

アジア レポート



表紙写真：ネパール

アジア・アウトリーチ・マレーシア **中国・チベット宣教への手がかり**

アジア・アウトリーチ・香港 **日本人に対する異なったアウトリーチのやり方**



患者を診る歯科医

祈りと交わり

チベット人の患者を診る地元の中国人医師

中国・チベット宣教への手がかかり

アジア・アウトリーチ・マレーシア宣教師

世界中でクリスチャンに対する迫害が増えている中、中国でも政府非公認の教会における活動や経済や場所について制限を増す宗教的な規制が新しく施行された。中国国内で大会を企画することや、外国での大会への参加にも政府からの許可が必要となった。中国本土外にいるクリスチャンとの関わりに対しても制限があり、場合によっては重い罰金を支払わなければならないことがある。中国に入国する外国人や宣教師のビザ発行も非常に難しくなってきた。しかし、これは宣教の世界においては決して新しいことではない。ところが、習近平の「中国の夢」やナレンドラの「ヒンズー・ナショナリズム」やプーチンの「復活したロシア」にも見られるような国粋主義が、この終わりの時代に、世界各国において広がりを見せていることは確かだ。だが、私たちはまだ光のある間に働かなければならないと知っている。そして「わたしたちは、わたしを遣わした方のわざを、昼の間に行わなければなりません。だれも働くことのできない夜が来ます。」(ヨハネ 9:4) とあるように、特にイエス様のお名前を聞いたことがない未伝部族に対する働きへの機会が与えられている。福音宣教に制限が設けられている環境下では宣教戦略を変えて働くことが求められている。地域教会が外国の資源に頼らずに自分たちで強く立てるようにと励まし、地域教会に属するクリスチャンが宣教に遣わされることが今まで以上に必要となってきた。

私たちは2018年3月にチベット山岳地にて、ある地域教会の協力を得て医療キャンプの働きをした。チベットの少数民族に対する重荷を持っている地域教会を見つけるのは簡単なことではなかった。この地域教会の女性指導者はチベット人と中国人の混血だったが同胞であるチベット人の救いに重荷を持っていた。私たちはマレーシア人の医者と歯科医師の2名、そして現地で数名の医者や2名の医学生とともに働いた。以前は市民センターなどで医療キャンプを行っていたが、戦略を変えて村に住んでいるクリスチャンの家を借りることにした。多くの場合、村にい

るクリスチャンたちの数は非常に少ないので、彼らが勇気をもってあかすことができるようにと励ますためだった。夜になるとクリスチャンたちが集まって祈り合い互いに交わることができた。集まり続けることが大切だと考え、セルグループによって定期的な交わりを保っていくようにと勧めた。あるチベットの村にはクリスチャンが一人もいなかったが、友人にクリスチャンをもつ村長の家を借りることができた。また別の村々では、私たちと同行したマレーシア人の医者は意図的にすべての人々を診察することをせずに、地域の医者たちに働くチャンスをゆずった。合わせて213名を診察し、うち131名を治療し、67名に歯科検診を行い、15名には薬を処方することができた。

私たちにとって宣教戦略を変えるということは、宣教の幻を地域教会とその指導者に見せることだと考えている。それによって、地域の医者たちや医学生たちが将来的に自分たちで医療キャンプを企画して福音宣教に加わることを願っている。地域の人ならば、時々、外国からの宣教師には難しい場所や人々に対しても福音を届けられる可能性がある。また、同国民であるから文化や現地の人々の考え方について外国の宣教師以上の理解を示すことができる。

もう一つの戦略はチベット人に仕事やビジネスのチャンスを提供することだ。これはまだ計画の段階にあるプロジェクトだ。チベットの起業家たちを励まし、それによってチベット社会に永遠的な影響を与えることができると信じている。このプロジェクトを通して、ビジネスマンやプロフェッショナルたちが専門的な経験と知識を用いてチベットの未伝部族への宣教に加わる機会を得られるようになる。宣教戦略を変えることはグローバル規模でのキリスト教会と協力することを含んでいるかも知れない。あなたも宣教に加わることができる！チベット人に福音を伝えるために、中国の地域教会はあなたの祈りと支援を必要としている。チベット中で聖霊様が働いてくださり、より多くの人々が福音を聞いてキリスト・イエスに心を向けることができるように共に祈ってほしい。

日本人に対する異なったアウトリーチのやり方

アジア・アウトリーチ香港 ジェームズ・チャック主事

2018年12月上旬、香港のいくつかの教会のクリスチャンたち10名によって構成された短期宣教チームが日本への宣教旅行を実施した。このチームには「宣教」ということばがまさに適切だったと言える。というのも、日本の牧師たちから繰り返し、日本人にはできない方法を用いて日本人に宣教してほしいとお願いされていたからだ。

日本人は親切で優しく、日本文化では対人関係が重んじられている。そのため、人間関係を築いていくには、普通、長い時間がかかる。一度築いた関係が壊れることを避けるために、福音を伝えることや信仰告白を迫って「波を立てる」ことを遠慮する傾向がある。

しかし、STMチームは「ヒット & ラン」のスタイルをもっている。短期間の宣教旅行であるがゆえに、人間関係を築き、それらを保っていく機会が少ない。これは決して私たちが乱暴に福音を伝えるということではなく、より直接的に福音を伝えることができるということだ。少なくとも、福音とみことばの種をまくことによって、神様の恵みによってたましいを勝ち取ることができるのだ。今回の宣教旅行においても実が結ばれた。



宣教チームは路傍で福音を伝え、かなりの数の人々が立ち止まってチームと会話することができた。訪れた人々のうち二人は、私たちと信仰告白の祈りへと導かれた。宣教チームは地域教会と協力してホームレスへの伝道もした。神様の恵みによってホームレスの中には注意深く話を聞いてくれた人々がいて、20人と一緒に祈ることができた。チームが帰ろうとするとき、チームリーダーが聖霊の導きを感じてイエスを主と信じる者がいないかと聞いた。すると、10人がイエスキリストを人生の主とすることを決心した。神様に栄光があるように。日本の教会はこの人たちに対するフォローアップを続けてくれている。

私たちは次のことばを信じている。「福音は、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。」(ローマ人への手紙1章16節)



アジア・アウトリーチ・ジャパンでは、今後香港からのチームを受け入れます。このようなチームは、基本的に自費で来日し、活動します。2019年も来日予定があります。受け入れご希望の教会は、アジア・アウトリーチ・ジャパンまで、メールかファクスでお申し込みください。

AOジャパン

AOJへの献金のお願い

AOJ 評議員 京都福音教会牧師
小平元昭



経済成長や人口増加率などから、今は「アジアの時代」と言われています。そして霊的な側面においても、アジアは最後に残された宣教とリバイバルの地と言えるでしょう。

私も時々アジアの国々に出かけますが、最近ではミャンマーの聖書学校で教えたり孤児院の支援をしています。その聖書学校では10～20代の若者たちが熱心に学び、やがて国中に遣わされるとのこと。また、その校長の娘は、私の米国留学時のクラスメートで、現在はミャンマーの副大統領夫人です。熱心な仏教国として有名なミャンマーですが、彼女の夫はクリスチャンとして初めて副大統領に選ばれ、夫婦で良い証を立てています。こうして、今やこの国のクリスチャン人口は、全体の8%にまで増えています。

ミャンマーに限らず、今アジア各国で神の働きが起っていることは、日本の教会にとっても重要な意味があると言えるでしょう。それは、日本の教会がますますアジア宣教の働きにかかわっていくということです。AOJは、アジア各国の現地の教会と協力しながら宣教を進めています。私もAOJの働きにかかわっていますが、海外の教会との様々な交流を通して、広い視野で神の働きを見るようになりました。主は「目を上げて畑を見なさい」と言われましたが、世界という宣教の畑を見ることで、自分の狭い世界に閉じこもってしまう危険から解放されます。また、私たちの教会は地方の一教会に過ぎませんが、特に海外宣教の働きには、思い切って時間と労力と献金を捧げてきました。そして、「与えれば与えられる」という神の法則通りに、それ以上の祝福がいつも教会にはね返ってきます。

日本の諸教会が、アジアの宣教とリバイバルのためにAOJの働きに参加して下さい、その働きの実をシェアされることを願っています。そのために、献金を通して支援助して下さるならば幸いです。

アジア アウトリーチ ジャパン 2018年度 会計報告

収 入		支 出	
一般献金	2,041,395	国内経費	2,346,526
国内向け指定献金	397,000	海外送金	420,042
国外向け指定献金	677,790	国内支援金	62,500
物品販売	51,000	販売物品購入費	45,000
収入合計	3,167,185	支出合計	2,874,068
前年からの繰越金	522,905	次年度繰越金	816,022
総計	3,690,090	総計	3,690,090

主事：吉田 隆
会計：レフトサーリ サミベッカ神之助
監査：中島 教芳

迫害されているクリスチャンのために祈ろう！ hakugai.org

編集後記

- 2019年最初のアジア・レポートをお届けします。今年は、日本では「平成」から新しい元号に変わるということで、新しい時代に対する期待が神様に対して沢山おありになることと思います。
- これまで、アジア・アウトリーチ・ジャパンをお支えいただきありがとうございます。2018年の会計報告をここにさせていただきます。今後とも、お祈りと経済的なお支えをお願

- いたします。
- 前回香港で日本人のため伝道をしている内田兄の働きを紹介させていただきましたが、内田兄はご事情によりAO香港の働きをお辞めになりました。AO香港は引き続き香港に於ける日本人への伝道と、日本のための祈り、日本への宣教チーム派遣を続けてくださいます。